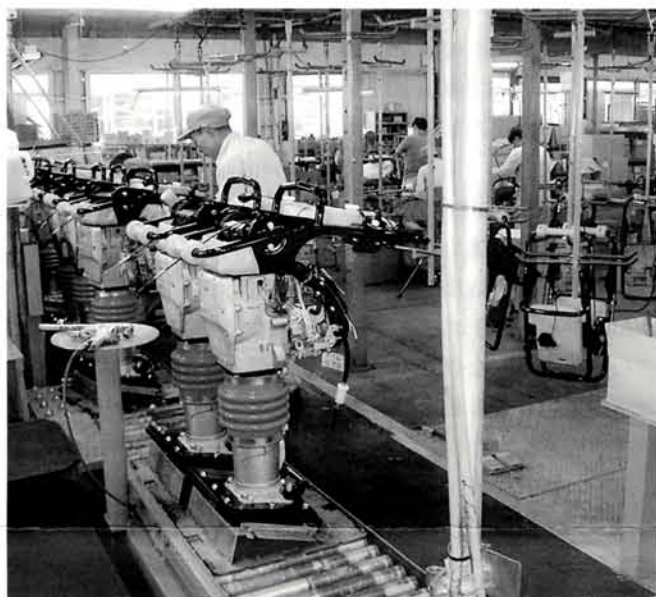


館林工場・春日部工場 がISO14001を 取得……



このたび、館林工場と春日部工場がISO14001（環境：EMS）の認証を取得いたしました。審査登録機関はテュフラインランドジャパン㈱（TUV）です。これにあわせ、既に取得しておりますISO9001（品質：QMS）も登録機関の統一を図るべく移行審査を受審し同時にTUVで認証されました。

企業経営にとっての環境テーマ

さて、地球環境が大きく変化している現在、環境問題への社会的関心は高まる一方です。その中でとりわけ企業経営にとって大きな意味を与えるテーマは①地球温暖化②廃棄物の削減③有害化学物質の管理の3点であると言われています。

上記のことをふまえてISO14001を認証取得することによってなぜ環境貢献企業へと進化できるのか、その主な理由も三つあります。

- ①有言実行―「廃棄物の削減」や「有害化学物質の代替品の選定、使用」等目標を達成（必達）する仕組みが出来上がります。
- ②継続的に実行する企業―環境負荷を低減する目標を達成しても、それが一度又は3年に一回であれば効果は限定されます。設定した目標を毎年達成する企業のほうが環境に対する企業の社会的責任を果たすことができます。
- ③環境法規制を順守する企業―企業の

コンプライアンスの一つとして法令の順守がありますが、ISO14001では、この規格の要求事項の一つとなっています。

取得にあたって

昨年の7月に認証取得に向けてキックオフしました。予備審査が12月、本審査が本年2月と決定し、短期決戦となりましたが、まず最初に行ったことは工場の現場調査（初期環境調査）でした。工場における全ての活動の洗い出しを行いました。今ですからこうして文章として書くことができますが、最初は現場の洗い出しといっても色々な方法があり、なかなかうまく進みません。そこでこのことを一日の生活に置き換えてみました。家を出て、会社へ出勤し、仕事を行い、帰宅する。この一連の流れの中で環境に影響を与える行動や原因となるもの（環境側面と言います）その結果としてどういう影響がでるのか、それを思いつくまに書き上げてみました。

例えば、車で通勤するならば、車の運転が原因で、排気ガス（大気汚染）、騒音の発生等が起り、影響（結果）となるわけです。この方法がその後の現場調査の基となりました。

現場の各工程において、どのような活動・行動を行っているのか、それが環境に与えている影響は何か、さらに使用している切削油、オイル、溶剤、

塗料、接着剤にいたるまでこれらとされるものを抽出してみました。また自分たちで管理できるものと、管理できないもの（例えば協力会社のトラックの使用やパレット・通い箱の使用、産業廃棄物の運搬・最終処分等―これらに影響を及ぼすことのできる側面と言います）に分類し、その中から特に環境に与える影響が大きいものを選定し（著しい環境側面）、自分たちの目標とするものを決定しました。それと平行して法令の調査も行いました。水質汚濁防止法・廃棄物処理法等の環境法令は言うに及ばず、工場が適用を受けられる法令（消防法、高圧ガス保安法、労働安全衛生法等）も調査し、さらに地方自治体との取り決め（ゴミの出し方等）にまで及びました。

その後マニュアル、手順書等の作成を行い、12月の予備審査を迎えました。予備審査では多くの指摘を受け、本審査を延期しようかという提案もなされましたが、一旦動き出した流れを止めたいと勢いを取り戻せないうえ、やはり既定どおり本年2月を本審査とし、社員一丸となって取り組み、認証を取得することができました。

おわりに

ISO9001と14001。車で例えますと、ようやく両輪がそろったと言えると思います。ご承知のとおりISOは認証取



今年は真紅とピンクのハイビスカスが例年以上にみごとである。ノウゼンカヅラも鮮やかに咲き始めている。庭に下り立って花や虫をながめるのが休日の習慣になった。出勤を隔日にしてからの習性である。何やら物思いしながらの草むしり。夏の庭は静かだが賑々しい。

夏のイメージからいうと、浴衣がけで素足に下駄、団扇を手にしての甚平姿などだが、私はどうもそのスタイルとは無縁のままに過ぎてしまったようである。西洋かぶれ？だったのか、と我が人生をふりかえる。青春時代の読書も音楽も、ほとんど外国のものだったし、壮年の三笠では外国まわりに明け暮れた。伝統的な日本情緒など身につける機会を逸したのだろう。われながら呆れる書籍趣味と三笠の仕事ひとすじの、来し方だったのだから無理もない。いま室内ではTシャツ専門、庭いじりには虫ふせぎの長袖。それが私の夏のスタイルである。

ノウゼンカヅラが咲くと、花火大会の予告宣伝があちこちで始まる。我が家に近い葉山森戸海岸でも、華やかに夜空を彩ってくれるが、夕涼みがてら浴衣を着て出かけるような風流心も持ち合わせない。Tシャツのまま二階の窓から眺めるだけだ。まことに無粋な無味乾燥の人間よ、と遅く今頃になって気が付いた。蚊取り線香をたきながら緑台将棋にふけた経験もないのである。

往年の山口瞳が週刊新潮に長期連載した『男性自身』が文庫本になってから、出社往復の車中愛読書になっている。私は「山口組」になる資格はないが、山口瞳という個性の強い人間の面白さに感銘し、夏の庭に佇みながら知らぬ間に、我が人生を振りかえったという次第。

得がゴールではなくスタートです。今後この両マネジメントシステムの定着を図り。継続的改善を行い「顧客要求事項の実現」と「環境負荷の低減」を目指して、お客様に喜ばれるより良い製品作りに取り組んでまいります。

第一回 大阪三笠会総会 盛大に開催！



石橋会長

昨年11月に設立発足し、今回第一回目となる大阪三笠会の定時総会が6月19日(火)、20日(水)、京都市のグランドプリンスホテル京都にて開催されました。当日は梅雨時期でとても蒸し暑い天候ではありましたが、多数の会員様のご出席を頂き、華やかに幕を開けることが出来ました。

総会に先立って特設展示場にて行われた製品説明会では新製品であるMTXシリーズのランマーをご紹介し、会員の皆様には大変注目を浴び従来機との違いを実感して頂きました。また昨年に引き続きMCV-727型舗装面取機の実演を行い、舗装業者を多数お持ちのお客様には好評で、コアマシーンによるピットの併用にも関心をもたれていました。次に高周波パイプレーターではFU-161型インバーターの電圧異常を知らせるLEDランプの実用性と信頼性を改めてご理解頂き、最後に輾圧機械での防音対策や振動対策など付加価値を高めた商品を展示し実際皆様にも運転して頂き、高い評価を頂く事が出来ました。

場所を移しましてホテル内「ロイヤルルーム」にて総会が行われました。初めに、大阪三笠会の石橋会長(高石機械産業株式会社 代表取締役社長)より「多数ご出席頂き誠にありがとうございます。長年の三笠様とのお付き合いを更に深めて行き、これを機にご出席の会員の皆様には今まで以上の三笠ファンになって頂きたい。また三笠様には今まで以上に良い商品の提供をお願いします。」とご挨拶を頂きました。引き続き弊社代表取締役社長の京谷より「昨年の設立総会を経て記念すべき第一回目の定時総会を開催することが出来、誠にありがとうございます。海外市場の厳しい規制をクリアし、付加価値の高い商品を開発し絶えず市場に供給するよう心がけていきます。今後もお客様には真の三笠ファンになって頂き、長期信頼関係を築いて行き、皆様と共に発展して行きたいと思っています。」と挨拶申し上げました。その後石橋会長を議長に議事が進行し、全ての議案とも満場一致で了承されました。最後に弊社常務取締役営業本部長の清水より閉会の挨拶をさせて頂き、無事に総会を終了しました。

懇親会では、吉田副会長(宝物産株式会社 代表取締役社長)の乾杯の御



京谷社長

発声で始まり、抽選会を交え楽しく歓談して頂きました。北野社長(北野建設株式会社 代表取締役社長)の中締めをもって懇親会は終了しましたが、その後二次会でも更に盛り上がる事となりました。

二日目は懇親ゴルフ大会に参加される方と、観光を楽しまれる方と別れ、観光の皆様はバスにて京都の清水寺、嵐山を散策して頂き、昼食には渡月亭にて京懐石と舞妓さんの舞をご堪能頂きました。

一方懇親ゴルフ大会では滋賀県、瀬田ゴルフコースで梅雨を吹き飛ばす晴天のもと熱戦が繰り広げられ、カキザキ建設株式会社 代表取締役会長 柿崎安藏様が見事優勝されました。

会員皆様のご協力により、第一回大阪三笠会定時総会を無事に終了する事が出来、誠にありがとうございました。ご出席頂きました皆様の今後益々のご繁栄とご健勝を社員一同お祈り申し上げます。

大阪一課 仲井記



製品説明会

第一回 九州三笠会 総会開催！



総会の模様

第1回九州三笠会の総会が6月26日(火)、27日(水)の2日間にわたり、福岡市内のJALリゾートシーホークホテル福岡にて開催されました。平日のお忙しい中、九州各地より今回、正式に入会して頂きました会員様にご参集賜り、第1回九州三笠会として盛大に幕を開くことが出来ました。

総会に先立ち行われた製品説明会では、屋外に特設会場を設け、三笠の主

力製品を一同に展示しました。防振性に優れたハンドル、稼働時間及びエンジン回転計兼用のオリジナルメーターの装備等、次世代ランマーとしての性能を凝縮したMTXシリーズランマーやMT-55SGK防音型ランマー及びMVC-F60S静音型プレート、MCV-727舗装面取機、FU-161高周波インバーターの実演デモを行い、皆様には関心深く見学して頂きました。

総会では永島会長(熊本中央リース株式会社 代表取締役社長)より「お客様とのより密接な関係及び三笠製品のような小型商品の多様な品揃えが今後のレンタル業界の活路であり、また代理店やレンタル業者のニーズに応えられるような商品作りを三笠さんをお願いしたい」とのお言葉を頂きました。続いて、弊社京谷社長から「念願であった第1回九州三笠会を開催できて喜ばしく思うとともに、この会を財産として意義ある会にしたい。三笠会を中心に営業力の強化、商品競争力(新商品)を強化し、作業者の負担の軽減、防音および排ガス対策といった高品質

な機械を開発していきたい。また、昨年に引き続き三笠ファンを増やしたい。末永く関係を持てるよう遠慮なくものを言うファンになって頂きたい」と挨拶がありました。

総会終了後の懇親会は、中野副会長(株式会社ナカノ 代表取締役社長)の乾杯のご発声により始まり、ビンゴゲーム等楽しい一時を過ごし、ユアサ商事株式会社 九州建設機械部部長の鈴木様の中締めでお開きとなりました。

翌日は梅雨時とは思えない素晴らしい天気の下、伊都ゴルフ倶楽部(福岡県前原市)にて親睦ゴルフ大会が行われ、株式会社ヒシヒラ福岡支店の重信副支店長様がみごと優勝されました。

昨年11月の設立総会を経て、今回34社のお客様に正式にご入会頂き、おかげさまをもちまして記念すべき第1回九州三笠会総会を無事に終えることが出来ました。九州三笠会の会員皆様に深く感謝申し上げますとともに今後益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

沖縄出張所 戴下記

高品質、低価格の 三笠ランマー用純正フート発売

ランマーのフートは直接アスファルトや地面をたたく部分ですので、使用するのにしがつて徐々に磨耗してまいります。磨耗が進みますと、機体の安定性や輾圧面の仕上がりなどに悪影響を及ぼしますので、弊社では早めの交換をおすすめしています。フートはランマーの補修部品の中では最も消耗が激しく、需要の多い部品のひとつです。

弊社ではこの度、このフートの設計を見直し、品質の向上を図るとともに価格を大幅に下げた新型フートを発売しました。

新型フートの主な特長は次の通りです。

- 1、特殊形状のメタルシートを採用し、作業時の安定性を大幅に向上させました。(特許取得済)
- 2、メタルシートには耐摩耗性に優れた特殊鋼を採用しました。



MT-55系(上)
MT-72系(下)

- 3、木部には専用設計の合板を使用し、剛性と耐久性を向上させました。
- 4、着脱が容易な四角頭皿ボルトを採用しました(従来の丸頭皿ボルトも使用可能)

昨今、サードパーティ製フート(非純正品)が見受けられますが、三笠のランマーはフートも一体として設計され、衝撃吸収、作業時の安定性等に優れた性能を発揮します。純正品以外のフートを使用されますと、ランマー本体への衝撃が強いため、機体に対して悪影響が出ます。特にエンジン部は衝撃によって大きな影響を受け、次のような故障の原因となります。

- 1、エンジン各部品の破損及びクラック
- 2、キャブレターの不調(メインジェットの磨耗)および回転軸受部の異常磨耗
- 3、エンジンガードなど本体部品の破損及びクラック
- 4、各部のオイル漏れ
- 5、エンジンオイルの異常消費などの現象が現れます。

三笠のタンピングランマーを長く快適にお使いいただくためにはロゴマーク入りの三笠純正フートをご使用下さい。

適合表

モデル	新		旧	
	部品番号	価格	部品番号	価格
MT-55系	3629-10150	¥20,000	3629-10100	¥26,000
	該当モデル MT-50V/W、52FW、55/A			
MT-72系	3669-10020	¥21,000	3629-10140	¥27,400
	該当モデル MT-63W、65H、68/W、72FW/L/A、76D、84F			

(上記以外のモデルは従来通りです)

Bauma 2007 ミュンヘン出張の記

コンテナが来ない…

初めてのユーロ、ドイツへの出張はトラブルから幕が開けた。

前日の約13時間のロングフライトはアジアを担当している私としては長く耐え難いものであったため、また時差もあり、展示会設営のために上げてきたテンションが次第に下がっていく。詰員(以下、チームミカサ2007)として今回の出張に参加した私としては一番の頑張りを見せなければならぬ設営作業、テンションを維持するのがやっと、やり場のない苛立ち、照りつける太陽に顔を焦がしながら静かにコンテナを待った。

ドイツと言えばベツ、BMW、ビール、ソーセージ、アウトバーン、サッカー、ヘンケルetc.なんてイメージしかない私であったが、中でも一番印象的であったのはソーセージであり、主に朝食に食べられている白ソーセージは鮮度が命「白ソーセージにお昼の鐘を聞かせてはならない」と言い習わしがあるほど、チームミカサ2007の隊長に指導を仰ぎ、作法に従い皮を剥き甘いマスタードをつけて食べた味は格別であった。

今回の展示会をご存知ミュンヘン市空港跡地メッセにて3年に1度開催される第28回2007 bauma 展である。今年は来場者数約50万人(前年比20%増)、約190ヶ国からの来場があり、三笠産業も1986年から8回目の出展となった。出展は3,041社。毎回3月下旬から4月の初旬に開催されていたが、今回からは4月下旬(4/23~29)と言う事もあり、2日目以外は好天に恵まれ、日中はブース内Meeting Roomのクーラーも役に立たずブースデッキで来場された方々も気持ち良くドイツビールを楽しんでいた。

この世界最大の建機展、ユーロ競合メーカーの熱の入れようは半端でない。中国からの出展も多く屋内スペースには中国メーカーがまとまったブースエリアもあり、その勢いが感じられた。中国小型建機メーカーのそのほとんどが三笠製品のコピー機であり、この様な公の場で堂々と出展してくるその図太さに怒りさえ覚えたが今後もこの中国勢の動きには注目しなければならない。

さてさて我々のコンテナと言えば展示会場周辺の道路が大混雑の中、昼過ぎにようやく到着し、何とかテンションも維持したまま設営作業に取り掛かった。今回の目玉商品は何と言っても新型ランマーのMTX-Series!!! ダイアフラムエンジンを搭載したこのNew Seriesは全4機種。外観デザインも一新され3ステージのAir Cleaner、アワー/タコメーターを搭載。操作性が向上しエンジン停止機能を備えたスロットルレバー。MT-Seriesとは明らかに違う防振ハンドルはオペレーターに対して優しく、この点をアピールすべく設営をおこなった。



デモ現場でのMT-Seriesとの比較運転は非常に好評で全てのお客様にその違いを実感して頂く事ができ、各国代理店、一般のお客様は勿論の事、各競合メーカーからの調査でブースは大変盛況であった。ブースの規模はユーロ勢には及ばないものの各国メーカーがランマーの開発に頭を悩ましているこのタイミングに新型ランマーを発表出来た事は、大変意義があり小型建機業界に三笠の存在を大きく示せた。

会期中の移動はもっぱらベツか鉄道。鉄道は98年のbauma展には完成が間に合わなかったらしく、それ以降に完成したもので人々の生活に根付いている様であった。地図を見ながら市内へと…ドイツ語表示に戸惑う小生。チームミカサ2007K隊員その節はお世話になりました。車の方も久々のマニュアル車にエンスト連発(汗)、宿泊ホテル(田舎)から会場までは慣れたものでしたが、やはりミュンヘン市内は。。。汗。ここでもチームミカサ2007K隊員に大変お世話になりました。

会期中4月25日には各国代理店の団結を深めるべく約80名での代理店会がミュンヘン市内の中華料理店で開催され、予定していた時間を大幅に延長したが成功裏に終了した。今年は弊社創立70周年と言う事もあり、京谷社長から各国代理店に記念品が贈呈され、改めて三笠ワールドビジネスの奥の深さを感じさせられた。

しばらく東南アジアでの商売にどっぷりと浸かっていた私であるが、久々に弊社製は勿論の事世界の最新鋭の製



品に接する事ができ勉強になった。アジアではお馴染みの中国メーカーも予想以上の早さでユーロ市場への参入を開始している。我々も彼等のモノマネ、価格攻勢に屈する事なく、常に最先端の技術、製品を追求しこの厳しい競争に勝ち残らなければならないと感じさせられる出張であった。

今回のbauma展は2010年の4/19~25です。三笠も勿論出展する予定ですが、果たして今回の新製品は何でしょうか?皆様期待してお待ちください。あっ、ホテルは今からでも予約しないと間に合いませんよ!急いで!チームミカサ2010が冷えたドイツビールを用意してお待ちしております。

えっ、ビール?あっ、あまりこの話題には触れませんでしたね。私はあまりビールが得意な方ではなく、日本でもあまり飲まないのですが、国が変われば美味しいものは美味しい。飲みましたよ、それなりに(笑)帰りの瓶の音をカンカンさせながら白ソーセージの缶詰と共に…ご馳走様でした。

最後にブースにお立ち寄り頂いた皆様、設営、接客のお手伝いを頂いた商社の皆様、現地ローカルスタッフの皆様、チームミカサ2007の皆様大変お疲れ様でした。

海外二課 松井記

笠友会第50回 記念総会 中国・大連市で開催

5月17日(木)から19日(土)の2泊3日の行程で中国、大連市に於いて三笠産業の協力工場および納入業者により組織された親睦団体の笠友会(りゅうゆうかい)の創立50周年記念総会が大連市に進出している日系企業の大連愛光浸漬成型有限公司さんへの視察および大連、旅順観光を兼ねて開催された。

成田空港を約1時間遅れで出発した一行44名は約3時間のフライト後、大連周水子国際空港に到着。バス2台に分乗し大連市金石灘国家リゾート区内にある大連愛光浸漬成型有限公司さんに向かった。車窓を流れる工場、マンション大規模開発現場等を見ながら1時間程の快適なドライブで同社に到着した。倉永董事長の出迎えを受け、早速、

創立当時から現在に至るまでのお話と、会社説明が行われ、その後日本から来られた顧問の方々の先導で工場内を見学させて頂いた。大連愛光浸漬成型有限公司さんは、1994年8月14日に大連市金石灘国家リゾート区に設立され、主力製品の車両用絶縁クリップを一貫加工生産体制で製造されており、日本車両メーカーを中心に世界車両市場に供給されておられる企業です。「先端技術より中国13億人の民の労力を活用させて頂き、ローテク技術を駆使して今日の企業基盤を築いてきた」と倉永董事長の言われるとおり、日本の工場に比べ各工程に多くの工員さんが配置され、しっかりと教育、訓練を受けた工員さんにより手作業中心に製造が行わ

れていた。成田出発が1時間遅延したことで慌しい見学になってしまいましたが、倉永董事長、顧問、社員の皆様方、大変お世話になりました。この紙面をお借りいたしましてお礼と大連愛光浸漬成型有限公司さんの益々のご発展をお祈り申し上げます。

愛光浸漬成型有限公司さんを後にして大連市内の宿泊先である九州華美達酒店にチェックイン後、今回の総会場である大連博覧大酒店に移動した。

総会の冒頭、当会の庭山副会長より、「中国は4千年の歴史があり、その長い歴史の中で日中は不幸な時期もありましたが、現在は経済交流が非常に盛んに行われております。今回は日本から進出している大連愛光浸漬成型有限公司さんの工場を見せて頂くことが出来ました。今後も日中の更なる友好と経済発展を期待しております。最近日本ではコンプライアンス、法令を順守が叫ばれておりますが、安全、安心、安定、安泰、各企業が努力しなければ安泰は来ないと思います。笠友会々員も努力を惜しまず切磋琢磨しながら業績を伸ばして行きたい」との開会のご挨拶がありました。

次に当会の特別顧問であります京谷社長より、会員皆様方に笠友会創立50年及び三笠産業創立70年に当たり日ごろのご支援、ご協力に対する敬意とお礼が述べられた。また、最近開催され三笠産業も出展したドイツ、BAUMA2007国際建設機械展示会を通して、世界の建設機械業界及びその市場動向、三笠産業の今年度の業績及び今後の営業方針説明が行われた。引き続き当会の事業報告及び会計報告等の審議が行われ、小師理事の閉会の挨拶で記念総会は終了した。



二日目は旅順へ向かい日露戦争激戦の地である203高地等の戦跡を見学した後大連に戻り市内観光を行った。大連は遼東半島の南端に位置し、東は黄海、西は渤海に挟まれた風光明媚な港湾都市であり、中国東北地方の表玄関である。街の中心には帝政ロシアによりバリエを模して10本の道路が放射線状に伸びるロータリー、中山広場があり広場を取り囲むように日本が建設したレンガ造りの西洋風ビルが残っている。現在でも銀行、郵便局として立派に活用されている。

最終日は午前中に星海公園、大連自然博物館を見学した後大連周水子国際空港から帰国の途に着いた。会員の皆様大変お疲れ様でした。

総務部 小谷記

札幌営業所 第21回 オープニングフェア



札幌営業所恒例行事のオープニングフェアは開催時期を、今年は従来の3月から時期を変え、新年度となる4月11日(水)、12日(木)の2日間、北海道三笠会の協賛により開催致しました。

4月開催の方が暖かいと思っていましたが、残念ながら両日とも朝方は雪となり、肌寒く感じる事もありました。

このような天候の中、札幌近郊はもとより函館、稚内、帯広など道内各地から大勢のお客様にご来場頂くことが出来ました。展示会場では騒音に対応したランマーMT-72SGK、プレートMVC-F60VLSおよびラバーヘッド付きマイコン、高周波パイプレーター等の実演を見て頂き、改めて防音、低騒音に向けた三笠の対応に感心して下さいました。

又、舗装時接着度を向上させる面取切削機MVC-727を初めて見る方も多く、その工法に対しての質問も相次ぎました。その他、好評頂いております床材剥がし機MS-60や、電源電圧の異常をランプでお知らせするFU-161にFV-301も加え、お客様よりお褒めの言葉を頂く事が出来ました。

今回はオープニングフェアを利用し、パイプレーターの分解修理の実演、講習を行ない実際にお客様に修理をして頂き、今後の整備に役立てて頂ける事と思っております。

今年も多数のご来場ご成約を頂き感謝致しております。これからも皆様のお役に立てる様所員一同努力致しますので、ご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

札幌課 池尻記(6月1日より関東一課)

EE東北'07新技術展示会 アスファルト舗装面取工法用 舗装面取機出展!!



5月30日(水)～31日(木)に宮城県仙台市の夢メッセにおいて新技術展示会EE東北'07が開催されました。この展示会は、東北地方整備局 東北技術事務所が主催し、今回は147社315技術が出品されました。EEとは、英語でEngineering Exhibition(エンジニアリング・エキジビション)の略で、新技術を広く公開するという意味です。この展示会は、建設事業に係わる新材料・新工法その他、時代のニーズに対応し開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、技術開発を促進するとともに、良質な社会資本の整備を通じて地域の発展に寄与することを目的としております。

秋には北陸地方整備局 北陸技術事務所主催の同じような展示会である、けんせつフェア in 北陸2007が開催されますので、こちらにつきましても、弊社は面取り機を出展いたします。

アスファルト舗装の面取工法は、7年前に開発され、舗装面取機械として毎年EE東北には出展されておりました。

長年、アスファルトの補修で舗装業者の最大の悩みが、舗装接合面の剥離でした。従来の工法は垂直カッターによる為、切断面が垂直かつ滑らかで、密着性が悪く、長い間には接合部が離れ、溝ができて路盤に雨水等が侵入する原因となります。特に寒冷地におきましては、道路の地盤凍結によるひび割れや不陸(でこぼこ)など、凍上現象による道路被害が多発しており、災害復旧事業の対象となっております。復旧工事では、舗装打換や路盤入れ替えが行われております。

面取工法は接合面の剥離を最小限にとどめる為に従来の垂直カッターで切断後、舗装面を特殊ビットで斜めに面取をする工法で、これにより、面取り部分に凹凸ができる為、接合面を更に強固なものとし剥離を予防します。

この工法は既に福島県において、県土木工事積算基準として新旧舗装打換に面取工法が原則化され、平成18年7月1日付けで通知されました。この通知は、アスファルト舗装打換工事を施工する場合には、新旧舗装の打継目の付着を良くするため、既設アスファルト舗装切断面の面取りを行うことを原則とするもので、施工対象となる工事は、既設アスファルト舗装を打換える全ての工事となっております。

今回の展示会では、面取工法を実演機(2台)にて、実際にアスファルト舗装を想定した実演コースにて舗装面取を行い、国交省や、地元宮城県、山形県、福島県などの役所関係の方々や工事業者の方々、また、カッター業者の方々に非常に興味を持って見ていただきました。

今後三笠はこの面取工法の説明会を各地で開催し、この舗装面取機の普及活動に力を入れて参ります。デモ機は勿論、詳しい資料やPRビデオ(DVD)等も用意しておりますので、ご興



味のある方は是非三笠の担当までお問い合わせいただければ幸いです。近い将来、日本の各地で三笠の舗装面取機が活躍する日が来ると確信しております。

開発部 須永記

三笠総合カタログ 2007～2008発行

新年度の三笠総合カタログが完成しました。弊社の営業員が順次お届けしますが、お急ぎの方は三笠ニュース編集部にお申込みいただければお送りいたします。



三笠クイズ VOL.66

〔問題〕タテとヨコのかぎを解いて1～5の文字をつなげると、夏にふさわしいことばが浮かんできます。さて何でしょう。



ヒント

ヨコのかぎ

- ア. 炒めてケチャップなどで味付けした飯を薄焼き卵で包んだ日本独特の料理。
イ. 桃○○3年柿8年、ユズは9年で成り下がり、ナシの馬鹿めは18年。
ウ. 双六・博打に用いる具。○○は投げられた。
エ. 近くで起こった火事。○○○見舞。
オ. 電車や自動車を入れておく建物。
カ. ある事の実現を願いのぞむこと。○○○が実現する。

タテのかぎ

- A. 箱根は、その落ち着いた佇まいから首都圏の○○○○○と言われている。
B. ○○○が通れば道理が通じ込む。
C. 世情に通ぜず人情の機微をわきまえないこと。そんなこと聞くだけ。
D. 中国古来の健康法の一つ。深呼吸と体操とによって体内の気と血のめぐりを良くする。
E. 死んだ人の残した財産。
F. さあ、目隠しをして、棒を持って、うまく当たるかな。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 〓 101-0064 東京都千代田区猿楽町1-4-3 三笠産業株式会社 「三笠ニュース」編集部

●締切り 2007年8月20日(月)消印有効

VOL.65の答えは「ワラビモチ」でした。次の10名様に図書カードをお送りしました。堅山香葉様(相模原市) 佐々木剛様(八丈島) 長田まどか様(水戸市) 片山多美様(糟屋郡) 小山内理恵様(北津軽郡) 上村大樹様(釧路市) 波戸直子様(天草郡) 新川知子様(東広島市) 金吉賢様(三次市) 崎田かおり様(北本市)

氏名 一ノ瀬功

入社 平成11年

出身地 佐賀県

所属 三笠建設機械株式会社
中部営業部 中部課



——日頃どんな仕事をしていますか？

愛知県・岐阜県・三重県の3県を受け持つ中部営業部中部課に所属し、名古屋市内と尾張地区(名古屋市周辺)での営業を担当しています。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

スポーツ全般に興味がありますが、特にサッカーが好きです。高校ではサッカー部に所属していました。Jリーグの観戦にも行きます。ワールドカップが開催された昨年は、友人宅で深夜の中継にも関わらず、絶叫しながら日本代表を応援していました。出身地の佐賀にも2部ではありますがクラブチームがありますので、帰省時にユニフォームを購入しました。一生に一度はW杯で日本代表の試合を生で観戦したいと思っています。

——お客様に一言どうぞ

当地区を担当し、丸6年が経とうとしていますが、お客様の質問に即座に答えられないこともあり、まだまだ知識・経験ともに未熟であることを痛感しております。少しでも多くのお客様に信頼される営業マンになれるよう日々努力してまいります。今後とも何卒宜しくお願いします。

我・ら・三・笠・ピ・ー・プ・ル・ズ



氏名 広沢 駿

入社 平成17年

出身地 埼玉県

所属 三笠産業株式会社
品質管理部工作課

——日頃どんな仕事をしていますか？

技術研究所の品質管理部工作課というところに所属しています。主な仕事は開発担当者から依頼される試作機の部品などを工作機械を用いて材料から加工し、作り上げる仕事をしています。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

今最も関心があることといえばギターです。数年前から挫折を繰り返しながら練習をしていたのですが、組んでいたバンドがなくなって以来、ギターにふれる機会がなくなっていました。そんな中、外国のとあるバンドのライブを見に行き、演奏のレベルの高さや鳥肌の立つようなテクニック、また音楽の楽しさを感じ、眠っていたロック魂を目覚めさせられました。またメンバーを集め、腕を磨いて、そのバンドに負けないような凄腕のバンドを作りたいと思います。

——お客様に一言どうぞ

今年で入社3年目を迎え、少しずつですが経験と技術を身に付けてきました。より早く、より正確な加工はもちろんのこと、研究所の一員として、自分なりの視点から意見や考えを持ち、より良い商品を作る為のサポートが行えるよう頑張ります。